

能登半島絶景海道の創造的復興に向けた基本方針(案)



能登半島絶景海道
ロゴマーク

～ぐるっと感動 まるごと能登！～

国道249号や県道などの能登半島沿岸部を通る道路について、滞在型観光の促進・「道の駅」の集客強化・サイクルツーリズムの活性化・魅力ある風景街道の創出などにより、国内外から人が集まる絶景海道を目指します。



1

能登の魅力を「ぐるっと感動！」

能登の絶景、豊かな自然、伝統ある祭礼や技術など魅力たっぷりの能登。多言語対応やデジタル化などを進め、世界中から能登をゆっくりと堪能してもらう滞在型観光の促進を目指します。



2

人が集まる「道の駅」へ

旅の目的地から地域づくりの拠点へと進化する「道の駅」。観光拠点としての整備や特産品の販売に加え、地域の賑わいに貢献するサービス提供など、観光客と地域の交流の場をつくりまします。



3

じてんしゃ旅、ふたたび

自転車が快適に走れる環境づくりに加え、震災で縮小したサイクリイベントなどの取り組みの支援を通じて、能登の魅力を国内・海外に発信し、サイクルツーリズムを盛り上げます。



4

風景街道がつむぐ絆を未来へ

能登の旅から人と風景をつなぐ風景街道。魅力ある風景や震災を活用した観光イベントの実施などを通じて地域で活動する様々な団体と交流・関係人口とをつなぐ道づくりを進めます。



1. 能登の魅力を「ぐるっと感動！」

【目指す将来像（イメージ）】

- ・のと里山空港での「能登半島地震を学ぶ旅」開催支援
- ・石川県観光連盟デジタルマップ等の活用
- ・モデルルートの設定

ドローン構想の支援

今しか見られない能登ツアー開催支援

標識、案内看板への
ロゴマーク等の記載

新たな絶景、メモリアルパーツの発掘
(能登絶景『美岩』の選定等)

奥能登国際芸術祭の開催支援

地域のニーズに対応した
隆起海岸等の新たな活用の検討

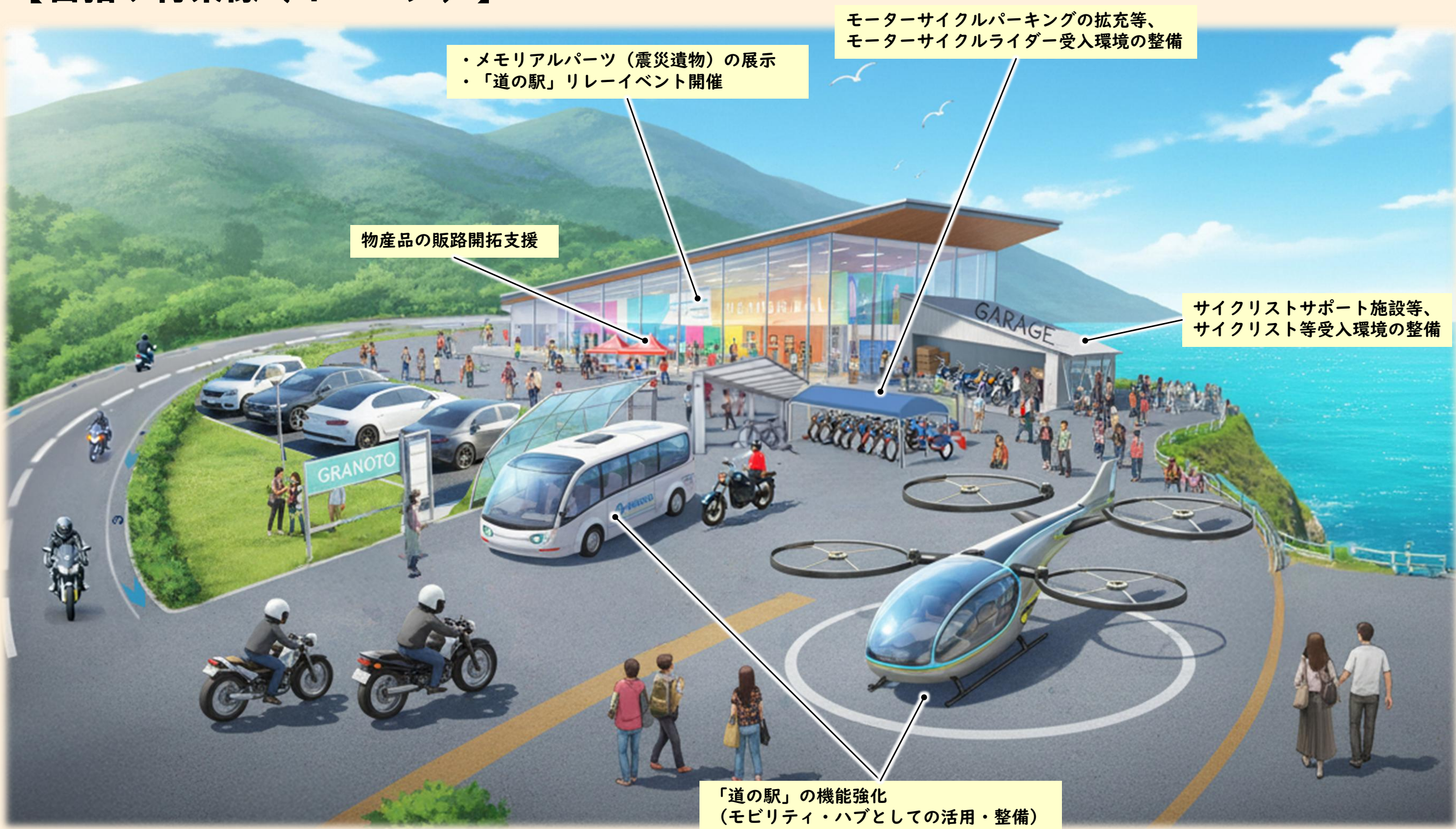
観光道路の復旧・整備

絶景を眺望できるパーキング等の整備

新たな絶景スポットには、地域の魅力に出会い、震災を振り返ることができるような目的地となるパーキングを整備し、これらと能登の主要施設には、空飛ぶ車の拠点として利用できるバーティポートの設置を目指します。平時は空から絶景を楽しめる観光拠点として、国内外からのインバウンドも取り込み交流人口の拡大を図ります。また、有事の際は、支援物資や住民・観光客の避難経路・物流拠点として活用し、災害に強い能登半島を目指します。

2. 人が集まる「道の駅」へ

【目指す将来像（イメージ）】



震災を含めた地域の歴史や文化に出会える魅力的な道の駅を整備します。また、「AI多言語観光案内」「AI地域語り部」「AI施設管理」などAI技術を活用し、能登を訪れたすべての方を包み込むようにお迎えする場所として整備を推進します。自動運転のサービス拠点となる可能性を見据えた整備を推進するほか、車だけでなくバイク、自転車、空飛ぶ車やドローンなどのあらゆる交通手段の結節点を目指し、地域住民・観光客双方が交流する便利で地域の賑わいを創出するエリアを目指します。

3. じてんしゃ旅、ふたたび

【目指す将来像（イメージ）】

- ・サイクリストサポート施設等、サイクリスト等受入環境の整備
- ・いしかわ里山里海サイクリングルート of ナショナルサイクリングルート指定を目指した取り組みの推進
- ・モデルコース（難易度、ターゲット別）の設定

サイクルツーリズムと連携したイベントの開催

サイクルスポーツイベントの支援

サイクルレインの支援

レンタサイクルの推進

多言語版ルートマップの作成

自転車通行空間の整備

能登半島絶景海道の沿線を全国でもここで見られない魅力的なサイクリングエリアとして整備を推進します。また、道路空間の再配分により、自動車・自転車双方が安全・快適に走行できる空間を整備します。あわせて、海外エージェント、インフルエンサーの招聘や情報提供・発進を通じて、全世界のサイクルライダーへ、能登の魅力の海外浸透を図ります。

4. 風景街道がつむぐ絆を未来へ

【目指す将来像】

- ・能登半島国定公園の拡張支援
- ・絶景を眺望できるパーキング等の整備
- ・「つなげよう絶景海道」クラフトコンテスト開催
- ・トキをシンボルとした地域活性化の推進
- ・能登駅伝復活の支援
- ・標識、案内看板へのロゴマーク等の記載
- ・復興イベントの開催
- ・ツーリングイベント（にっぽん応援ツーリング、SSTR等）との連携

各種団体との協力体制構築

観光ガイド（震災の語り部）等による
震災の記憶の伝承

オリジナルグッズの
企画・販売

民間企業との連携による
新たな取り組みの推進

震災を踏まえ、DMO（観光地域づくり法人）、スタートアップ企業、ローカル・ゼブラ企業や能登地域で頑張る多様なステークホルダーを巻き込み、魅力的な風景街道を構成していきます。また、震災の記憶を伝承する「語り部観光ガイド」やオリジナルグッズの企画、販売など、日本風景街道からはじまる地域の「稼ぐ力」を引き出し、「みち」を舞台とした持続可能な様々な交流を推進します。